

令和5年度2学期末学校評価アンケート(保護者)について

2学期末に保護者のみなさんにご協力いただいたアンケート結果をまとめ、そこから今後の学校運営や教育活動の方向性を修正するため、分析を行いました。結果や分析につきましては、全教職員で共有し、活用していきます。なお、文中の「達成率」の数値は、「よくあてはまる」「あてはまる」という回答数の割合です。また、分析については1学期末のアンケートの達成率の数値との比較を中心に行いました。

＜達成率の数値が高い項目について＞

⑦お子さんは、交通ルールを守っている。(97%)

③やさしい子…お子さんは、やさしい心で人に接している。(96%)

⑬お子さんは、朝ごはんを食べている。(95%)

⑦については、1学期末同様、達成率が最も高いという結果でした。子供たちの交通マナーに関する情報を、地域の方々からいただくことがあります。保護者、地域、学校の大人たちの高い意識が、子供たちの交通マナーを育てていると考えています。今後とも、三者が協力して、交通事故から子供たちを守るができるようにしていきたいと考えています。

③については、学校教育目標の一つであり、人との関わりという点において学校でも重要視している項目です。やさしい心で人に接する子供が増えれば、学校は楽しく、居心地のよい場所になります。今後もこの評価が続いていくことを願います。

⑬については、1学期同様に達成率が高い項目です。朝食については、生活のリズムを作ることや午前中の学習効率の向上、栄養摂取等、様々な効果が示されています。今後も継続していただきたいと思えます。

＜達成率の数値が低い項目について＞

⑧お子さんは、本をよく読んでいる。(家で1週間に1回以上)(46%)

⑩お子さんは、地域で行われる活動(祭りや行事、清掃活動)に進んで参加している。(41%)

⑧について、学校では2学期に「読書週間」を位置づけ、読書に目を向ける取組を行いました。学校の取組に、ご家庭における働きかけが加わることでさらなる向上を目指したいと考えますので、今後も引き続きご協力をお願いいたします。

⑩については、学校関係者評価委員会でも話題に上がっており、地域における課題の一つでもあります。コロナ禍で行事が途絶えたことに加え、少子化が影響しているとのことでした。打開策として、地域の枠を越えて行事を実施する試みを行っているそうです。子供が地域の活動に参加し、自分の住む地域を好きになることは、子供の幸せに大きく関わることです。今後も地域と協力して参加を促していきます。

＜達成率の数値が、1学期より大きく上がった項目について＞

⑥少人数指導やITによって学習に対する意欲が高まっている。(72%→78%)

②学校は、地域とともに子供を大切に育てている。(85%→91%)

②学校は相談しやすい雰囲気や体制を整えている。(83%→89%)

⑥については、学校の学習指導への取組が効果を上げていることの表れだと思われれます。今後も様々な方法で子供たちの学習意欲向上を目指していきます。

②については、学校と地域との連携が進んでいること、学校や地域が子供を大切に育てようとしていることが、保護者の方に認知されてきたということだと考えられます。上記⑩でも記述したように、地域の中で育つ子供の姿を見据えて、今後も地域との連携を進めていきます。

②については、学校として大変うれしい結果です。日常的に子供に接する保護者と教員が、子供に関する情報を共有しながら育ちを見守ることが、学校教育には不可欠であると考えます。今後も引き続き相談しやすい雰囲気や体制づくりを心がけたいと思えます。

＜達成率の数値が、1学期より大きく下がった項目について＞

⑩お子さんは、自分のよいところが分かっている。(79%→74%)

⑭お子さんは、早く寝るように気を付けている。(74%→70%)

⑮お子さんは、たてわり活動に進んで取り組んでいる。(91%→87%)

⑩については、子供の自己肯定感に関わる項目であり、主体性を始め様々な行動に影響する内容です。日頃の関わりにおいて、子供のよいところを言葉で伝えることで改善が見込まれます。

⑭については、生活習慣に関わる項目です。⑬の朝食同様、適切な睡眠は学習効率や心身の成長等、あらゆることに有効性が期待できます。よりよい睡眠確保のため、ご協力をお願いします。

⑮については、1学期同様のたてわり活動を行っている中での変化ですので、マンネリ化やたてわり班内の人間関係等、様々な要因が考えられます。今後もたてわり活動が子供にとって有意義な活動になるよう支援していきたいと思えます。

アンケートのまとめは別紙にあります